

地形奏でるあづまや



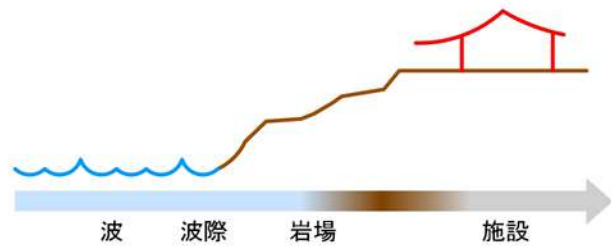
1. 周辺環境に配慮した建物

敷地は、沖縄本島南部にある糸満市摩文仁の近くにある大度園地の一角に計画し豊かな自然環境が現存する沖縄戦跡固定公園である。敷地周辺の自然環境からヒントを得て計画しました。



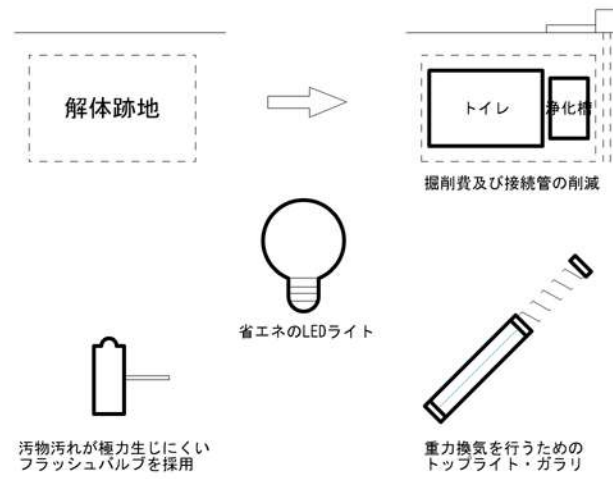
2. デザインコンセプト

「地形の延長線」をコンセプトに周辺環境が連続してつながる建物を提案します。



4. コスト縮減に対する提案

本体工事をコスト内に収め、かつ外構計画に要する費用を最小限とするために既存東屋跡地に便所・新設浄化槽を設置し既存側溝に放流することで既存インフラを最大限活用した計画とします。また、トイレに採用する照明は消費電力の少ないLEDライトをメインとし長期間メンテナンスの手間がかからない仕様とします。換気設備についてもトップライトに設けたガラリを介し重力換気を採用し、排水についてはフラッシュバルブを採用しました。



5. 施設管理のしやすい計画

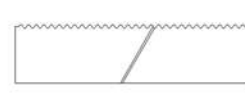
施設管理が容易になるよう、できるだけ複雑な設備は避け自然換気及び自然採光を積極的に取り入れ簡素な仕上げとすることで塩害対策及びライフサイクルコストにも配慮した建物とします。

内外部軒・仕上げ



リタメイト仕上げ

床仕上げ

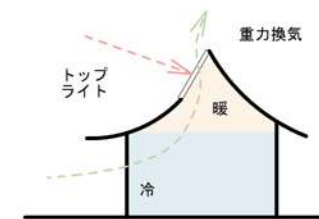


滑り止め兼用ピシャン仕上げ

内壁仕上げ



半ツヤ AEP-R塗装



設備コンセプト

7. 将来的な「地形の延長線」

シンプルな形状をメインに設計しているため、既存トイレやダイビングショップの建物の建て替え時期に形状を踏襲することで更に一体感のある景観形成に繋がり将来的な観光資産の役割も担うことができる建物として提案します。

